

重点課題

- 【課題1】 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。(「与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する。)(設問7(2)関数(平均正答率23.4%)記述できていない無解答率27.7%)
- 【課題2】 ある条件の下でいつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる。(∠ARGや∠ASGの大きさについていつでもいえることを書く。)(設問9(3))図形(平均正答率17.0%)記述できていない無回答率34.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- 【課題1】 関数の領域において、表やグラフを用いて問題解決する場面を設定し、その解決方法を記述したり、説明したりする学習活動を取り入れる。記述は、解決に向けての順序、表やグラフの具体的な活用方法を示すこと、数学的な表現や処理を適切に示すことに留意して指導する。
- 【課題2】 図形の証明に関する内容は、生徒が苦手とする分野であるため、丁寧な指導を行う必要がある。記号を用いた記述方法、仮定と結論の意味、証明の必要性、証明した図形の性質を常に成り立つ性質として捉えることを意識して指導にあたる。

※ 小中一貫した取組については、図表やグラフを用いて問題解決する場を設定し、根拠を示しながら説明する学習活動を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月 3年 「復習テスト」	1月	2月 2年生 「学年末テスト」	3月
学年・方法							
目標値				60%		60%	
実施後数値							

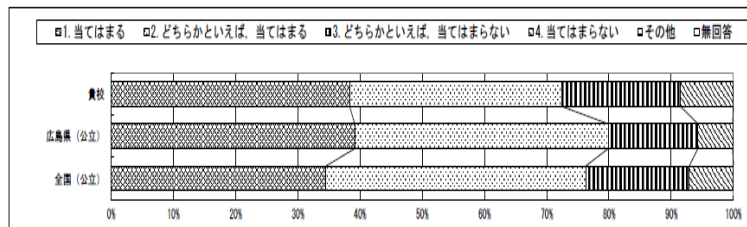
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月 3年 「学年末テスト」	2月	3月 2年生 「復習テスト」
学年・方法							
目標値					60%		60%
実施後数値							

来年度に向けて

考えたことを数学的に表現することに課題が見られる。
特に関数や図形では、記述問題が不十分であるため、今後も復習を継続する。

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：生徒質問紙調査)

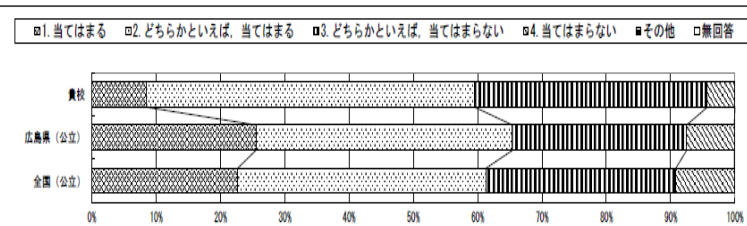
(1) 生活・学習



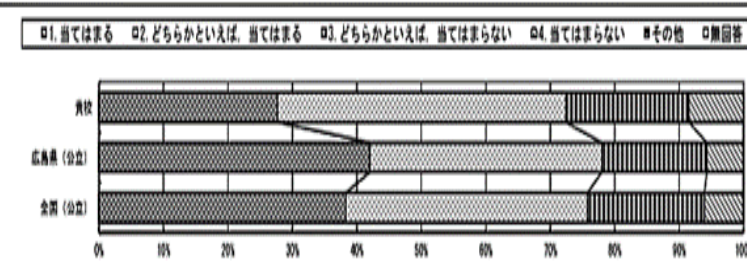
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	<p>「自分には、よいところがあると思いますか」の肯定的回答率が低い。(本校 72.3%, 県 79.8%, 全国 76.2%)</p> <p>「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしています。(本校 57.1%, 県 67.0%)</p>	進路へ向けての取組みや、「総合的な学習の時間」の取組を通して、自己理解・自己分析を図っていく。	3 2	75% 65%	生徒アンケート	2月	

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて自分の考えを話したり、必要に応じて質問したりしていますか。



数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	<p>「国語の授業では、目的に応じて自分の考えを話したり、必要に応じて質問したりしていますか」の肯定的回答率が低い。(本校 59.6%, 県 65.4% 全国 61.3%)</p>	授業の中で、小グループでの話し合いや意見の交流の場を設定する。ノートやワークシートに根拠や理由を記入させ、話し合う内容が具体的にできるように指導する。	3	65%	生徒アンケート	2月	
全国・学習意識等	<p>「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」の肯定的解答率が低い。(本校 72.4%, 県 78.0%, 全国 75.8%)</p>	問題を解決するいろいろな方法を確認し、見通しを持たせる時間を確保する。また、いろいろな方法で解ける問題では、生徒に説明させ、それぞれの解き方の良さを考えさせるように指導する。	3	75%	生徒アンケート	2月	